

町指定文化財に3件を追加

町では、現在9件ある町指定文化財に3件を新たに追加しましたので紹介いたします。

① 釈迦涅槃図（長さ2.1m、幅1.8m）の掛け軸

この絵画は、金山地区にあった臨済禅宗安養院年行寺あんよういんねんぎょうじに伝えられていたもので、宝暦10年（1760年）琉僧智璨りゅうそうちさんほか信者10名が施主となり補修したとあります。

明治初年の廃仏毀釈はいぶつきしゃくのとき焼失されようとしたものを、宿主平某なながしが検視役人に頼み込んで譲り受け守られました。

その後、泉福寺六代住職浄音師じょうおんじが譲り受け大正10年2回目の補修をおこない、そののちも大切に保存されてきました。（現在も永野泉福寺に保管）



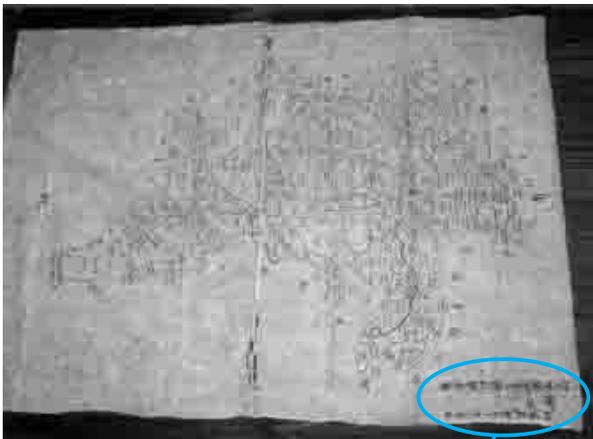
▲釈迦涅槃図掛け軸

② 明治12年11月21日作成 求名字絵図（縦95cm、横75cm）

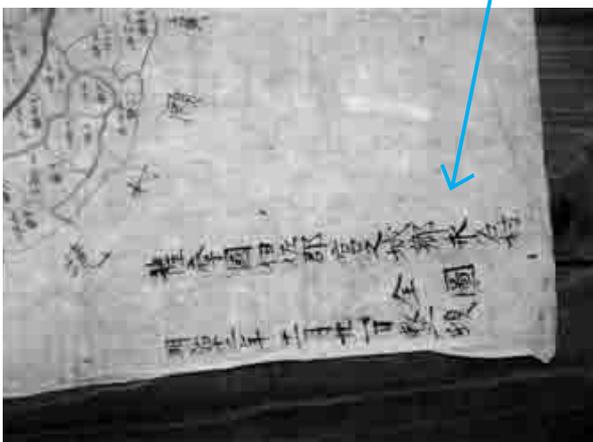
明治6年7月発布の地租改正条例は、鹿児島だけ西南戦争のため延期されました。

その後明治12年1月から準備にとりかかり、その時の字絵図が求名だけに残っておりたいへん貴重なものです。

（現在ふるさと薩摩の館に保管）



◀「求名字絵図」全体図



◀「求名字絵図」文字部分の拡大

③ 稲富神社古木群

稲富神社は寛永9年（1669年）の創建と推定され、この境内には推定300年以上の古木3本のほか、約200年近くの古木2本が現存しています。今回は、このイチイガシ、タブ、イヌマキの3種類、計5本が指定されました。

▶推定300年の稲富神社にあるイチイガシ

